

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	守口市立守口小学校	階数	地上4F
建設地	大阪府守口市八島町	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第2種住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、防火地域	平均居住人員	1,461 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,765 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年12月 予定	評価の実施日	2024年2月21日
敷地面積	14,524 m ²	作成者	昭和設計吉田航介
建築面積	4,517 m ²	確認日	2024年2月21日
延床面積	14,430 m ²	確認者	昭和設計山本和宏



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.4

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>大規模学校としてのスケールメリットを活かした実践的な学びの場を学校全体に展開し、多様な「人」「モノ」「コト」「情報」の中で「自分の好き」を見つけ様々な人とともに探求する環境を整え、次の時代の担い手を育む学び舎としています。</p>	<p>その他</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>内装材に木材などの天然素材を多く採用し温かみのある室内環境とし、子どもたちが学びに向かいやすい環境を整えている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>子どもたちが学びに集中できる空調設備を整えるとともに、避難所としても長く十分に機能するように耐荷重、耐用年数が高い材料で計画している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地内を十分緑化し温熱環境へ配慮した外構計画とし、外周には四季での変化を持つ樹木を配置することで街に緑を提供している。また、既存樹木を残し伐採する樹木は内装材に転用するなど地域や敷地の歴史を継承している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>中庭やハイサイド窓、太陽光発電パネルなど、自然エネルギーを積極的に採用し省エネルギーに努めると共に、建物が子どもが環境学習が行える学習対象になるように配慮する。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>内装材にリサイクル材を積極的に採用し、既存躯体を継続利用することで、環境配慮を実施している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>敷地内を緑化を積極的に行うことで敷地外への熱的な影響を減らし、敷地外周に樹木を配置することで騒音への配慮も行っている。グラウンドを人工芝とすることで、砂塵などの影響を周辺に極力出さないように計画している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	守口市立守口小学校建設工事					
	建設地	大阪府守口市八島町					
	用途/区分	学校(小中高)					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					4	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

報告しない

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.4	3
② みどり・ヒートアイランド対策			4
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	4.0	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価	3.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価	3.0
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.8	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
その他			
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項	
特に配慮した事項			